

ROTARY INTERNATIONAL

Rotary Club of Matsue 松江ロータリー・クラブ

2025-26年度国際ロータリーのメッセージ
よいことのために手を取りあおう

MATSUE WEEKLY

No. 3481

週報

事務所 〒690-0874 松江市中原町167-1-3F TEL 21-6143 FAX 31-8985
HP: <http://www.matsue-rotary.jp> E-mail: office@matsue-rotary.jp

第3481回例会(令和8年1月7日・水)

今週のプログラム

1月7日(水) 会員スピーチ
「歳男・歳女会員の年頭所感」

次週のプログラム

1月22日(木)
「松江4クラブ合同例会」
ホスト: 松江東RC
例会場: ホテル一畠 平安
例会: 18時30分~19時20分(予定)
懇親会: 例会終了後~20時50分(予定)

●誕生日●

目次	真司会員	14日	勝部	晋会員	15日
高梨	泰至会員	19日	山根	睦会員	27日
内田	寛会員	28日	大居	慎治会員	29日

●出席100%賞●

内田	寛会員	28年	木村俊一郎会員	6年
高梨	泰至会員	6年		

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
1月8日(木)	米子中央	ANAクラウンプラザホテル米子
1月8日(木)	平田	ホテルほり江
1月15日(木)	松江東	ホテル一畠
1月20日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畠
1月22日(木)	松江東	ホテル一畠
1月26日(月)	松江南	松江エクセルホテル東急
1月27日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畠
1月29日(木)	平田	ホテルほり江

2026年1月の予定

- 1月7日(水) 新年初例会
定例理事会
- 1月12日(祝・月) 衛星クラブ単独1月例会
参加希望の方は事務局まで
- * 1月14日(水) 休会
- 1月22日(木) 松江4クラブ合同例会
ホスト: 松江東RC
例会場: ホテル一畠 平安
例会: 18:30~19:20 (予定)
懇親会: 例会終了後~20:50 (予定)
- * 1月28日(水) バイキング形式の食事

第3480回例会記録

令和7年12月17日(水・雨)

	会員数(人)	出席者数(人)	欠席者数(人)	出席率(%) (出席免除会員含む)	前々回補正(%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	58	34 (リアル34) (オンライン0)	24	65.39	81.82

メキヤップ: 角戸、錦織(松江しんじ湖)

会務報告

後藤 勇会長

- ご挨拶
7月~12月までの事業報告とお礼
- 衛星クラブ9名出席

友塚順子幹事

- 本日の家族忘年例会が年内の例会はこれで最後となります。
- 12月24日(水)、12月31日(水)は休会です。
- 来年は1月7日(水)が新年初例会となります。
- 通常例会で開催致しますのでよろしくお願い致します。

委員会報告

- 大谷聰介副会場監督
出席報告

ログラム

「例会兼家族忘年会」

二コニコ箱

14,000円

後藤 (①本日の家族忘年会に大勢の皆様にお越しいただきましたありがとうございます。明るく、楽しいロータリークラブを目指してがんばります。②中村先生と旧ノイズのメンバーによる演奏を楽しみにしています。大谷さん、新宮さん、長岡さんお久しぶりです。)

山崎 (家族忘年会の開催おめでとうございます。ご準備頂いた皆さん、ありがとうございました。)

谷口正 (①本年内の最終例会、家族忘年会楽しみです。木村委員長をはじめ親睦・出席委員会の皆様ありがとうございます。②本日の演奏、中村先生と久々にお会いする諸先輩方に感謝申し上げます。)

信太 (家族忘年会の盛会を祝して。)

木村 (本日はご参加いただきありがとうございます。半年間ありがとうございました。)

友塚 (本日の家族忘年会の中村会員皆様のバンド演奏とても楽しみにしております。親睦委員の皆様準備大変だったと思います。ありがとうございます。)

大谷聰 (結婚月)

川本文 (誕生日)

ベストメッセージ賞: 該当なし

司会 大谷聰介副会場監督

家族忘年会

2025年12月17日(水) 19:00~21:00

司会：木村俊一郎親睦出席委員長
山根 親睦出席副委員長

- 開会挨拶 後藤 勇会長
- 後藤勇会長より谷口正人会長エレクト紹介
- 谷口正人会長エレクト挨拶
- 乾杯のご発声 小林祥泰第3グループガバナー補佐
- ノイズ演奏
(中村寿夫会員、大谷厚郎元会員、新宮靖人元会員、長岡住右衛門元会員+バンドマンさん)
- くじ引き大会
- 子供さんお孫さんへのプレゼント

- 奥様への感謝を込めて花束贈呈
- 閉会挨拶 山崎徹副会長
- 手に手つないで







歳男

年頭所感



津久井 宏

1966年8月30日生まれですので、今年60歳になります。「60歳」と言うと、若い時は“死の一歩手前”“棺桶に片足”的ように思っていましたが、実際に近づいてみると不思議なもので“人生あと三分の一”的感覚です。ただ、身体の各機能の低下を感じ、血圧と尿酸を押さえる薬は手放せなくなりました（涙）。

そんな節目の年を前に、松江の道場で昔親しんだ少林寺拳法を再開しました。あまりに動かない身体がとても情けなくなりましたが適度な運動は気持ちの良いもので、続けたいと思います。

年頭にあたり、60歳以降をどう生きるか考えてみました。私なりの答えは「学び続け、動き続け、遊び続ける」です。若い頃は、目標に向かって一直線に走ることが正義でした。しかしこれからは、速度よりも持続。大切なのは、お穏やかな気持ちで無理なく続けられる習慣を持ち、身体も心も“少しだけ負荷をかけて”鍛え続けることだと思います。いきなり大技に挑まず、基本を丁寧に積む。人生も同じで、日々の基本——睡眠、食事、会話、感謝——を疎かにしないことが肝要であると感じます。

そして、何か新しいことにもチャレンジしたい。

もっとも、候補を並べてみると狩猟、家庭菜園などのアウトドア生活、釣り……遊びのことばかりです。ですが、これは決して“ただの遊び”ではありません（と、ここは強調しておきます）。自然と向き合い、自分の手で工夫し、失敗して学び、達成感を得る。狩猟は命と責任を学ぶこと。家庭菜園は野菜を知り、土を知り、季節を知り、己をしる事。釣りは水中の複雑なパラメータとの答え合わせ。いずれもこれまで深くやってこなかった取り組みです。

こう考えると還暦とは、終点ではなく折り返しでもなく、単なる通過点なのかもしれません。これからは、肩書きよりも暮らし方。成果よりも関わり方。たくさんの人々に支えられてきた分、今度は私が、周囲に小さな安心や笑顔を増やしていく存在になりたいと思います。道場での一礼、仕事での一言、地域での挨拶。そんな当たり前を丁寧に積み重ねながら、島根の四季を楽しみ、時には釣り糸を垂らし、時には畠を耕す。こんな残りの人生にしたいです。

引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

(空港管理)